

事業番号	04 09 21	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	■ 点検
事業名	西駒郷管理運営事業			担当課	部局	健康福祉部
<参考> 総合5か年 計画	プロジェクト			課・室	障害者支援課	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障害者支援の充実		E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S43	～

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 地域の入所施設としての役割だけではなく、社会生活上問題行動のある方及び障害の重い方等の受入れを含め、全県のセーフティネット的な機能としての役割を果たす。 利用者個々のニーズに応じた個別支援を充実することにより、それぞれが希望する生活ができるようにする。 入所者が地域での生活を希望する場合は、関係機関と連携して、地域に戻るための支援を行う。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度に策定した西駒郷基本構想に基づき入所利用者の地域生活移行を推進した結果、平成15年度～平成24年度の移行者数は、累計で271人となり、入所利用者数は441人から130人まで減少している。 地域生活移行希望者に障害程度が重い等で移行が困難なケースが増えている。 	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 【左記の説明、根拠法令等】 社会生活上の問題行動や重度障害のある者等、他施設で受け入れが困難な障害者に対応するセーフティネット機能としての役割を果たしている。

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活移行を希望する入所利用者の状況、移行先となるグループホーム等の整備状況等を勘案して、以下のとおり目標を設定する。 ○地域生活移行者数(単年)：6人 ○入所利用者数：141人 ○通所利用者数：79人 					
	② 事業内容 (単位：千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)
	指定管理委託料	指定管理	・西駒郷の管理運営を指定管理者((社福)長野県社会福祉事業団)に委託する。	293,496	293,496	308,215
	指定修繕委託料	指定管理	・宮田日中作業3号棟に空調設備を整備する。	0	0	3,899
	地下埋蔵タンク流出防止対策事業	直営	・既設の地下貯蔵タンクに腐食防止対策を行った。	6,346	4,284	0
			合計	299,842	297,780	312,114

事業コスト	区分(単位：千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越	5,350	0	0	0	項目	現況(見込)	H24			H25 目標
	当初予算	282,235	317,223	299,842	312,114			目標	成果	達成状況	
	補正予算	0	-7,605	0	0	地域生活移行者数(単年)	9人	6人	4人	未達成	5人
	合計(A)	287,585	309,618	299,842	312,114	入所利用者数	147人	141人	130人	達成	122人
	国庫支出金	5,350	0	0	0	通所利用者数	76人	81人	79人	未達成	86人
	県債	0	0	0	0						
	その他()	19,766	43,477	0	4,212						
	一般財源	262,469	266,141	299,842	307,902						
	決算額(B)	282,114	309,618	297,780							
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50							
概算人件費(C)	4,159	4,129	4,129	4,129							
概算事業費(B(A)+C)	286,273	313,747	301,909	316,243							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活移行希望者に障害程度が重い方が多いことや受入れ皿となるグループホーム・ケアホームの数が不足していること等から、地域生活移行者数を達成できなかった。 親が居住する近隣の地域への施設に入所するために退所する者が増加したため、全体的に入所利用者が減少し、目標を達成することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活移行が困難なケースが増えてきているが、できるだけ本人意向に沿い、移行ができるよう引き続き支援をしていく。 今後、地域生活移行により入所利用者数が減った場合は、サービスの質を低下させないことを前提に、効率的な施設運営を検討する必要がある。